

秋田工業高等学校 中期ビジョン (五カ年計画)

本校が目指す5年後の姿(具体的な目標)

① 学校の現状や課題

本校は、平成26年に創立110周年を迎える秋田県を代表する工業高校である。卒業生は、県内はもとより日本国内、世界の各地で活躍している。

全国高等学校ラグビーフットボール大会で最多15回の優勝を誇る名門ラグビー部をはじめ、全国大会で上位入賞をねらえる部活動が多く、その活躍は本校関係者のみならず地域住民や広く県民にも活力と勇気を与えている。

工業高校の持ち味を生かしたものづくり教育や各種資格取得、ボランティア活動を通じた地域貢献を推進している。不況の中にあっても本校の就職率は高く、県内外の各方面から本校教育は高く評価されている。

学校内には、生徒の元気のよい挨拶が響き渡り活気が満ちている。また、整容にもよく気を配っている生徒が多い。

学習面では、潜在能力の高い生徒が多いが、学習習慣の定着が不十分な生徒もいる。授業改善の取組を中心に、一層の学習指導の充実が必要である。

ラグビー場の人工芝化を皮切りに、校舎改築工事が始まる。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

少子化によって入学者の減少が予想される。現在の学級規模を維持し、本県工業教育のセンタースクールとしての責務を果たすためにも、本校の魅力を様々な機会を捉えて適切に外部に発信する必要がある。

県を代表する工業高校として、これまで地元秋田に有為な人材を輩出してきたが、今後更に県内就職の受け皿が減少した場合、優れた技術や技能をもった優秀な生徒がますます県外に流出することが懸念される。人口減少が進む本県にあって若者の地元定着が急務である。

③ 目指す方向性や学校像

○心身ともに健全で豊かな人間性をもち、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する。

○真理を追究し、専門の基礎的技能・技術を養い、進んで地域に貢献し、実践と創造を重んずる人材を育成する。

○キャリア教育を通して、地域社会の期待に応え、自ら学ぶ力や生きる力を身に付けた自立した職業人を育成する。

○コミュニケーション能力を培い、国内外で活躍できる人材を育成する。

④ 5年間を通しての具体的な目標

○高校生ものづくりコンテスト秋田県大会で優勝を目指す。

○2級技能士、2級施工管理技師、第1種電気工事士、甲種危険物取扱者等の高度な資格取得の合格率100%を目指す。

○就職・進学ともに決定率100%を達成する。

○TOEIC-Bridgeテストで平均110点以上を目指す。

○部活動において全国大会優勝や上位入賞を目指す。

具体的な取り組み等

○ものづくり教育の推進

- ・「ものづくり工房」の設置に向けて、学科の枠を越えた創造的なものづくりを実践する。
- ・地域企業とも連携しながら親子ものづくり教室等を開催して、地域に開かれたものづくりの場を提供する。
- ・高齢化社会の到来を見据え、福祉関係の施設と連携して、各学科が福祉・介護等の現場で必要とされる器具の設計・開発や製作に参画する。
- ・他の専門高校(商業・農業)と連携し、製品開発やマーケティングの実習を行う。
- ・農業高校の協力を得て「実験的農作物生産プラント」を構築し、工業高校の枠を越えたものづくりを研究する。

○ボランティア活動を通じた地域貢献

- ・金砂神社清掃及び金砂町内の除雪ボランティアを実施する。
- ・取得した資格や学習成果を活用して地域での技術ボランティアを実施する。

○キャリア教育の推進

- ・職業意識や職業選択能力を培うため地域企業ネットワークを活用して、長期インターンシップを実施する。
- ・各学科の専門性とガイダンスの一層の充実を図り、将来の職業を結びつけ、自己の能力、適性により主体的に進路選択ができる人材を育成する。
- ・将来、専門的職業人として活躍できる資質・能力の向上を目指して実習を充実させる。

○グローバルに活躍できる人材の育成

- ・国内外で行われる各種研修への参加を促し、国際的感覚をもった人材を育成する。
- ・基礎的な英語コミュニケーション能力向上のために、TOEIC-Bridgeテストをはじめとした英語に関する各種検定試験に積極的に取り組む。

○豊かな心と確かな学力

- ・家庭や地域の協力を得て、学年及び各学科との連携を強化し、学校全体できめ細かな生徒指導を行う。授業やホームルーム活動、校門指導等で基本的生活習慣を身に付けさせ、相手を思いやる豊かな心をもった人材を育成する。
- ・朝学習、放課後補習に加え、朝、昼補習を実施し、生徒個々に応じた教科指導により学力向上を目指す。
- ・工業系大学、特に国公立大学進学希望者への補習等の支援を充実させる。

○部活動による学校の活性化

- ・運動部、文化部ともに生徒が向上心と創意工夫をもって活動することで、学校の一層の活性化を目指す。

○秋田工業高校の特色を生かした教育活動

- ・地域ネットワークの拡大
地域企業とのネットワークを行政、高等教育機関、地域内高校を含めた地域人材ネットワークづくりを拡大させ連携を深める。
- ・ネットワークを活用した事業の展開
高度熟練技能者等の外部講師による出前授業や出前実習を実施する。
大学や県の研究機関の最新設備を活用した実習を実施する。
- ・電気科を電気エネルギー科に改編
環境、エネルギーに関する科目を履修する。
環境教育設備を積極的に取り入れた教育活動を実践する。
- ・新エネルギー教育の実践
CO₂排出削減のための新エネルギー活用システム(太陽光発電装置)による実験・実習を実施する。
- ・エネルギーや資源の有効活用などを意識した環境教育の実践
3R(廃棄物の減量化、再使用、再資源化)など環境に配慮したものづくりを実践する。

ご意見のある方は Akitakougyoukoutougakkou@pref.akita.lg.jp までご感想やご意見をお寄せ下さい。